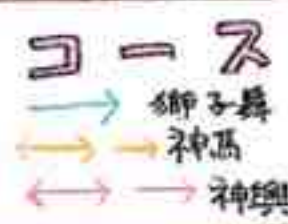


布引海岸（富津岬）

富津岬の布引海岸には、弟橘姫の衣が流れつき、海岸近くの貴布祢神社に祀られている。海岸には弟橘姫の額布津磐石がある。



貴布祢神社
弟橘姫額布津磐石

馬出し 14:00~15:30

オメシと呼ばれる神馬の鞍に神霊である幣束をつけ、吾妻神社から岩瀬海岸まで、オメシの後を神輿が続き渡御する。

海岸では、二人の青年が馬の口を持ち、馬の両脇にしがみついて疾走する。神馬の疾走は1回、続いて副神馬の疾走が行われ、弟橘姫の櫓が流れ着いたところで、幣束をおろし埋納し帰還する。引き続き、神輿が海岸で神輿ごと海に入る清めを行ったあと、還御する。（千葉県指定無形民俗文化財）



弟橘姫像

神馬 岩瀬会館

8:15 神社へ出発
12:15~13:50 休憩

岩瀬会館

12:15~13:50 休憩

神輿 15:30~16:30



岩瀬橋（神輿）

14:00（行き）
17:00（帰り）

獅子舞 6:30~8:00

雄雄の獅子が、朝神馬が吾妻神社に向かう前、宝幢寺から吾妻神社まで、参道の穢れを祓い浄化する。道中、獅子頭を上げ下げし、前後へ移動しながら進む。拝観ではお膳子を奏で、その後神社入り口横の獅子屋台に安置する。



オブリ神事 9:20~9:30

（岩瀬会館前8:15~）

オブリとは神前に供える儀のことで、青竹を一本に併せた中央に出世魚（イナダ）をつくり下げ、岩瀬の神前にてお供する。鳥居前では、「オイス、オイス」のかけ声とともにおくらまんじゅうの装束で、顔を描きもみあげながら神社へお供する。拝観に安置してある神輿にオブリを飾り、大祭開演を行う。（富津市指定無形民俗文化財）



吾妻神社（神輿）

9:45 出発
20:30 安置

神馬 吾妻神社

9:00 鳥居先
9:15 石段廻り
9:18 祭典
9:20 お祓い
10:00 下山
16:35 帰山

獅子頭安置 8:00~

走水から上総国へ

ふるっふるっ
神話のまち布流津（富津市の由来）

日本武尊と弟橘姫の軌跡をたどる

吾妻神社例大祭~馬出し祭~

西大和田区（宮元）・細区・中区・岩瀬区

2019年9月15日（日）



日本武尊と弟橘姫伝説

古事記・日本書紀で伝えられる日本武尊が東田により東国（東夷）を大和朝廷の支配下にしたときのこと。走水（三浦半島）から船出して上総国（房総）へ向かった日本武尊は、大風により難船しそうになった。お伴していた妃の弟橘姫が日本武尊の身代わりとして海神の心を鎮めようと入水し荒波を鎮めた。無事日本武尊は上総国へ上陸した。その7日後に海神に身を捧げた弟橘姫の櫓が岩瀬海岸に流れつき、どこからか一頭の馬が現れて櫓をくわえ、走水の海が一望できる吾妻山の頂き（吾妻神社）まで揚げ上がったといわれている。また、身につけていた衣が流れ着いた場所が富津市の布引海岸と伝えられる。

問い合わせ

富津市（市外局番 0439）
生涯学習課 ☎80-1342
秘書広報課 ☎80-1225
商工観光課 ☎80-1291